



わかしょう

〔学校教育目標〕

○かしこい子ども

○美しいものに感動する子ども

○思いやりのあるやさしい子ども

○たくましく生きぬく子ども

文責

校長 時田直人

第54回若草小学校卒業証書授与式

祝 卒業おめでとう (はなむけの言葉一部抜)

まず思い浮かべることは1年生の三学期から始まったコロナ感染症対策です。特に2年生から3年生にかけては休校や多くの行動制限があり、今まで通りの学校生活を送ることができませんでした。5年生では校舎解体、そして三学期から6年生の一年間は仮設校舎での生活となりました。その中でも笑顔や涙、たくさんの経験を通じて、一人ひとりが大きく成長しました。校庭で元気に駆け回る姿、友だちと力を合わせた行事、静かに学びに向き合う授業風景。その一つひとつが、校長先生の心に深く刻まれています。自分たちで創意工夫し、全校児童の先頭に立ち活躍する姿から日に日に成長していくみなさんを見て、とても頼もしく感じました。

四月、入学したばかりの1年生の朝の支度を手伝っていた6年生。縦割り班活動で下級生の手を引く6年生。運動会では、各色の応援を盛り上げるために、リーダーを中心として創意工夫した活動が見られた6年生。児童会活動「スマイル」のテーマのもと常に笑顔で下級生の先頭に立ち活躍する姿がありました。きっとこれからの人生の中でも思い通りにいかない場面が出てくることと思います。しかし、そこであきらめるのではなく、与えられた環境の中から自分の手で、友達との協力の中で、仲間のために力を発揮できる人間になってもらいたいと思います。

これから新しい世界へ飛び立つ卒業生のみなさんに、私から二つのことをお話しします。一つ目は、出会いを大切に感謝の気持ちを忘れないで欲しいということです。今、みなさんの心には若草小学校での様々な思い出がよみがえっていることでしょう。楽しかったこと、うれしかったこと、辛かったこと、苦しかったこと、そのすべてがみなさんの成長につながっています。どの思い出もかけがえのないものであったに違いありません。そして、そこには必ずみなさんを支えてくれたたくさんの人たちがいることを忘れないでください。人は誰もが自分一人では生きることができません。これまで育ててくれた家族、特にこの卒業式に出席していただいたお父さんお母さんは、どれほどみんなのことを思い、みんなのために尽くしてくれたか、その愛情は表現できないほど深く大切な愛です。ともに笑いともに苦しみ、六年間をいっしょにすごした仲間。皆さんの成長を今日まで見守ってくれたすべての先生方、自分の成長を支えてくれたこの校舎をはじめすべてのものに「感謝」の気持ち「ありがとう」を伝えてください。人との出会いはその人の生き方を大きく左右します。自分一人ではできることは限られていますが、仲間と力を合わせれば多くのことができます。力を合わせるからこそ、感動を味わったり、価値のある経験ができるのです。人と人との絆を大切に、常に感謝の気持ち「ありがとう」を胸に人生を歩んで欲しいと願います。

二つ目は、日々努力し向上心を持つことです。「日に新たに、日々新たに、また日に新たなり」という言葉があ

ります。今日という日は誰にも平等にやってきます。その大事な一日を有意義に過ごして欲しい。そのためには、今日の行いは昨日より新しく、明日の行いは今日よりもさらに新しくなるように、自分自身を日々高めていくという言葉です。四月からは中学生です。楽しいことばかりではなく、時には苦しいこともあるでしょう。どんな時にも自分に負けることなく常に向上心を持ち、前を向いて歩く人になってほしいと願います。中学校では多くのことで、周りの力を借りずに自分の力で人生を切り開く力を身につけるときです。その中で、何度か人生の岐路、分かれ道に出会います。人はどうしても楽な道を選びがちです。しかし、選択の基準として自分自身を成長させる道を選んで欲しいのです。苦しい道ではあるが自分自身の向上のためにしっかりと自分の意思を持ち、苦しくても未来の自分を成長させてくれる道を進んで欲しいと思います。『You can do it』やればできる、やらなきゃできない。夢に向かって進むみなさんを、応援していきたいと思います。

卒業生の皆さん、いよいよお別れです。皆さんと共に過ごした時間は、忘れることができない大切な宝物です。何時までも応援し続けています。皆さんの希望にあふれた前途を祝し、また、益々の活躍を願い、はなむけの言葉といたします。



今の体育館での卒業式は、今回が最後です。令和7年度は校舎完成、体育館解体。令和8年度体育館建築となります。卒業式はとても素晴らし式でした。「6年間学んだすべてを出す。」「自分らしさを表現する。」「そして「カッコいい姿を見せる」。練習の中で6年生に話したことです。本当に一人ひとりが、最後の授業で自分らしさを最大限発揮した卒業式でした。みんなが活躍する姿を想像していますよ。そしてみんなの成長をいつまでも応援しています。たくさんお話しできたこと、ずっと忘れません。時々、その笑顔を見せに来てください。

学校だより『わかしょう』 ご愛読ありがとうございました。

3年間で今回が66枚目のお便りになります。願いはただ一つ、「学校の様子を伝えたい。子供たちの頑張る姿を伝えたい。そして、保護者や地域の方々に支えられ明るく楽しい学校を創りたい。」子供たちが頑張ってくれたこと、先生方が情熱をもって指導に当たってくれたこと、保護者の愛情の中で子供たちが生活できたこと、そのすべてに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。子供たちにはお便りに載せて」とたくさん声をかけてもらったけれど、全員に叶えられなくてごめんね。4月からは一つ上の学年です。今まで以上に友だちと仲よくして、楽しく学校生活ができるよう頑張ろうね。

